

最近の日韓経済関係を振り返る（後編）対韓直接投資は半導体、IT分野に集中

別表2：日本企業の韓国進出事例（投資元企業が非製造業、2019年1月～2023年4月）

発表年月日	企業名	概要
2019年 2月1日	アブ・アウト	・「らーめん山頭火」韓国1号店をソウル市に出店。
2月14日	SBI FinTech Solutions	・韓国子会社のSBI Cosmoneyの増資引き受け（引き受額 2億9,700万円）を決議。韓国での国際送金事業の業容拡大、財務基盤強化を目的とする。
2月12日	DMM GAMES	・韓国のゲーム開発会社の開拓、韓国でのゲーム事業展開（ライセンスイン／ライセンスアウト）のため、現地法人を設立。
2月14日	LITALICO	・Olive Unionに追加出資し、戦略的アライアンスを締結。
2月15日	内外トランスライン	・韓進新港物流センターの株式60%取得（取得額3億8,600万円）を決定。釜山新港地域での倉庫会社取得で倉庫ビジネスをさらに発展させる。
3月20日	UDS	・2020年5月末、ソウル市にホテルアンテルームを開業予定。UDSが国内で手がけるホテルブランドの海外初展開。 ・日本の人口減少を背景に、これまで日本で培ってきた企画・設計・運営ノウハウを生かし、今後も中国、韓国、スリランカなど海外での事業展開を推進する予定。
4月1日	ネクスティ エレクトロニクス	・半導体・電子部品販売の現地法人をソウル市に設立。資本金28億ウォン、出資比率はネクスティ エレクトロニクス75%、韓国豊田通商25%。 ・韓国の次世代自動車産業の拡大を見込む。
4月3日	ワタベウェディング	・韓国で海外挙式サービス、衣装販売などを行う現地法人ワタベコリア（ソウル市、資本金3億ウォン）を設立。 ・韓国の結婚式の多様化、海外旅行者数の増加を受け、海外リゾートウェディングの需要取り込みを狙う。ハワイ、グアム、ダナン、バリ、沖縄での挙式商品・衣装サービスを開発・展開する。
7月12日	ベルトラ	・12CM.Inc（ソウル市）との合併会社設立を決定。韓国人向けに全世界向けの現地体験ツアーを販売するオンライン、モバイルプラットフォーム運営事業などを展開する狙い。
7月19日	ソフトバンクグループ	・アリーステージのスタートアップ企業に対して、アジアを中心としてグローバルに投資を行うことを目的に「グロース・アクセレレーション・ファンド」を設立。ファンドには同社、ソフトバンクコリア、ソフトバンクベンチャーズアジアのほか、韓国年金機構などの機関投資家が出資者として参画。
9月30日	Hamee	・子会社Hamee Koreaが主要仕入れ先のJEI DESIGN WORKS からブランド企画、デザイン人材を含む製品製造事業を譲受することを決議。譲受金額は40億ウォン。プロダクト創出と製造原価低減を図る。
12月18日	トランスコスモス	・子会社のトランスコスモスコリアがWebサイト制作・開発拠点を開設。韓国の優秀な人材を生かし、日本国内と同等のサービスを提供する。 ・まず、日本向けにサービス提供を開始し、将来的には韓国市場向けのサービス展開、日本への人材交流を行う。
12月20日	SKIYAKI	・韓国、日本での韓流アーティストのマネジメント事業やインフルエンサーマーケティング事業を行うAhagoの株式60%を取得。 ・韓国のインフルエンサーと連携し、韓国のエンターテインメント領域を軸とするアジア戦略の加速を進める。
2020年 1月8日	KDDI	・「KDDI Open Innovation Fund 3号」を通じて、データの自動匿名化技術を有するDeeping Sourceに出資。ビッグデータ活用が期待されるデータビジネス領域で新たな価値共創に向けた取り組みの一環。

別表2：日本企業の韓国進出事例（投資元企業が非製造業、2019年1月～2023年4月）

1月9日	クリーク・アンド・リバー	・同社は韓国のテレビ局に対する人材派遣事業を行う子会社を2001年にソウル市に設立した。2016年に韓国側経営陣の出資比率をいったん高めたが、韓国のエンターテインメント分野のネットワークとの連携強化を狙い、再度、子会社化する。
1月27日	スノーピーク	・VIRTUALTEKと資本業務提携し、韓国でアパレルを中心とした製品開発・販売を共同で行う。2020年中に韓国国内で70店の店舗展開を計画。
5月29日	シナネン	・韓国の大型陸上風力発電事業参画のため、発電事業権を持つBellsion Powerに出資。
6月23日	ネクソン	・子会社ネクソン코리아が韓国企業と折半出資でゲーム開発の合弁会社2社を設立。
9月29日	歯愛メディカル	・韓国企業と合弁（歯愛メディカルの出資比率は70%）で、歯科関連商品の販売会社を慶尚南道金海市に設立。韓国で歯愛メディカル製歯科関連商品を中心に販売拡大を図る。
11月24日	セキド	・日本発の新コスメブランド事業立ち上げのため、ソウル市にL&P COSMETICと合弁会社を設立する契約書を締結。出資比率はセキド10%、L&P COSMETIC90%。
12月16日	システム・ロケーション	・自動車関連事業者向けシステム開発のValue ableに追加出資し、子会社化。Value ableの財務体質強化、事業加速を目指す。
2021年 1月6日	グローバル・ブレイン、KDDI Open Innovation Fund3号	・スマートグラス向け主要部品のOptical Solutionsを提供するLetinARに出資。
2月3日	ネクスティ エレクトロニクス	・韓国のベンチャー企業のSmart Radar Systemに出資。Smart Radar Systemのアンテナ設計・信号処理技術を活用した小型レーダーを顧客に提供していく。
2月8日	SBIホールディングス	・韓国で投資事業を行う100%子会社・SBI Capital（資本金300億ウォン）を設立。韓国の貯蓄銀行の投資運用事業に対する規制強化などに対応。ベンチャー投資、フィンテック分野への投資を拡大していく。
2月10日	コムシード	・ソーシャルカジノ開発の知見と人材を有する韓国に現地法人を設立し、日本や世界市場をターゲットとしたネイティブアプリの開発・運用を行う。
4月9日	クラスメソッド	・ソウル市に現地法人を設立。韓国企業、在韓日系企業へのアマゾンウェブサービス（AWS）の導入、運用支援、コンサルティングなどを行う。
6月10日	マクアケ	・「Makuake」の活用推進や韓国企業の事業展開サポートのため、初の海外拠点の韓国支社を設立。
6月11日	グローバル・ブレイン	・当社が運営するKDDI Open Innovation Fund 3号は、ショートフォームドラマ制作会社WHYNOT Mediaに出資。
7月2日	K Village Tokyo	・ボイストレーニングスクールのNAYUTASの事業を東進から譲受。「日韓最大のコミュニティを創る」という経営理念の実現を目指す。
7月12日	松田産業	・貴金属関連事業の影響強化、市場調査を目的にソウル市に現地法人を設立。
8月16日	アイスタイル	・美容総合プラットフォームを運営するGlowdayzに追加出資し、100%子会社化（従来の出資比率は14.9%）。子会社化による連携強化で企業価値向上を目指す。
10月4日	トランスコスモス	・現地市場向けにBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスを提供する韓国子会社が、新たなオペレーション拠点「釜山第3拠点」を開設。事業拡大に対応。

別表2：日本企業の韓国進出事例（投資元企業が非製造業、2019年1月～2023年4月）

10月8日	ドリコム	・モバイルゲーム開発のマドルカの株式約7%を取得。モバイルゲームの日本国内外での展開で連携していく。
10月26日	楽天モバイル	・P2P（ピアツーピア）ファイル転送ソリューションを開発するスタートアップ企業イストモブを買収し、100%子会社化。買収により韓国に研究開発拠点を設置し、イストモブの開発体制や技術を活用したインターネットやエコシステムに関するサービスの製品開発を加速する。
12月30日	ジェイ・エスコムホールディングス	・リワード広告を中心とするITマーケティング事業を行うマフィンの株式を取得し、100%子会社化。韓国でのデジタルギフト事業の経験を生かし、日本でのデジタルギフト事業を本格展開することなどを狙う。
2022年 4月13日	アドベンチャー	・総合旅行予約サイトのオフショア・システム開発拠点としてソウル市に現地法人を設立。
5月14日	TBSテレビ	・韓国シェア1位のネイバー・ウェブトゥーンなどと縦読み電子漫画制作会社を設立することで合意。TBSテレビは合併会社設立を通じ、ウェブトゥーン制作事業に乗り出す。
5月20日	IMAGICA GROUP	・米国子会社が、ダビングスタジオ経営のジュース・メディア（ソウル市）の買収を決定。アジア市場でのグローバルE2E（エンドツーエンド）サービス事業の展開を加速する考え。
10月27日	double jump.tokyo	・同社のCVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）事業のdouble jump.venturesがブロックチェーンゲーム開発のEPIC LEAGUEに投資家として参加。両社のノウハウを生かしたゲームの共同開発や、日韓市場でのマーケティングの連携などにも期待。
11月29日	KabuK Style	・韓国の300施設以上のホテル向けにRMS（レベニューマネジメントシステム）を提供するヒーローワークスの持ち分を取得し、子会社化。KabuK Styleが開発中の宿泊施設向けシステムを補完、強化する目的。
12月22日	豊田通商	・車載電池集電体用アルミ箔（はく）製造のサンア・アルミニウムの第三者割当増資の引き受けを決定。豊田通商では、電池関連ビジネスを成長の柱の1つと位置づけ、電池部材のサプライチェーン構築に注力している。
2023年 1月16日	メディアドゥ	・縦スクロールコミック制作のコンテンツラボブルー（ソウル市）に約5億円を出資。縦スクロールコミック市場への本格参入に向け、日本のコンテンツを活用したオリジナル作品制作ラインの確保、国内外の電子書店へ配信可能な海外作品の調達を狙う。
3月9日	K Village Tokyo	・スキンケアEC、美容情報サイト運営企業のカンナムドールを買収。K Village Tokyoのサービス・会員基盤と、カンナムドールのノウハウ・サービスを連携させ、韓国商材を集めるECサイトを目指す。
3月20日	KabuK Style	・訪日韓国人のインバウンド市場再開を受け、韓国に現地法人を設立。旅のサブスク「HafH」の韓国での事業展開を推進する。
3月29日	トリプラ	・韓国支社を設立。韓国の宿泊施設は、高価なOTA（宿泊予約サイト）手数料による収益圧迫や人手不足といった課題を抱えている。トリプラ独自のIT技術で宿泊施設の課題を解決し、韓国市場の獲得を目指す。
4月27日	ポーラ	・ソウル市のロッテ百貨店本店に韓国1号店を開設。ポーラの韓国出店は旅行者をターゲットとした免税店のみだった。今後、アジア諸国に対し、トレンド発信拠点として影響力を発揮していく韓国国内への出店により、ブランド認知拡大を図る。

注：企業名はプレスリリース発表時。

出所：日本企業各社のプレスリリースに基づき作成